

2012年1月4日

デジタル・アドバイジング・コンソーシアム株式会社

日本経済新聞にDACグループの取り組みが掲載されました

デジタル・アドバイジング・コンソーシアム株式会社(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:矢嶋弘毅、以下DAC)は、インターネット広告に関わる様々なテクノロジーの開発・導入にグループを通して取り組んでいます。

DACは、2011年11月より広告主・広告会社が自ら広告配信を行う次世代型広告配信プラットフォーム「i-Effect」の提供を開始しました。DACが資本参加している株式会社ALBERT(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:上村崇)が保有する高度なレコメンデーション技術を活用し、利用者の閲覧履歴や購買履歴等に基づいた最適な広告クリエイティブの配信を実現します。

また、子会社の株式会社プラットフォーム・ワン(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:徳久昭彦)では、昨年の6月から売り手と買い手を自動的に0.05秒以内の瞬時にマッチングさせる広告取引システム、リアルタイムビidding(以下RTB)を活用した広告取引を推進しております。

このたび、こうした取り組みが2012年1月1日付の日本経済新聞に掲載されましたのでお知らせいたします。

【掲載】

2012年1月1日付 日本経済新聞 第二部 5面

『デジタル広告 先端技術が続々 行動履歴を分析』

詳細は、当社のコーポレートサイトに掲載しておりますリリースをご参照ください。

- ・次世代広告配信プラットフォーム「i-Effect」を提供
http://www.dac.co.jp/Contents/pdf/press/201110_i-Effect.pdf
- ・DAC、ALBERT(アルベルト)に資本参加
http://www.dac.co.jp/Contents/pdf/press/201110_ALBERT.pdf
- ・新たなディスプレイ広告市場を形成
http://www.dac.co.jp/Contents/pdf/press/201110_p1_marketplace.pdf

以 上